

TAJIMI TOHTO LC
明日に向かって

1994 第2号

発行日 平成6年6月24日
 発行 多治見陶都ライオンズクラブ
 責任者 宮地憲康
 事務所 多治見市豊岡町3丁目29番地
 TEL <0572> 25-8920
 FAX <0572> 24-0778

三年目を迎えて

1994年度会長 尾 関 恵 一

わが陶都LCは、2年を経過し3年目に入ろうとしています。

この重要な時期に会長に推挙され、誠に光栄に思うと同時に身の引き締まる責任感を痛感しています。

私は未だ不勉強であり、真のライオンズムとは何であるかを、十分に理解しているとは思えないものであり、クラブのリーダーシップを発揮するなどと言うことが出来るか不安だからです。

私は、わがクラブの結成に参加して以来、多くの友人を得ました。今まで全く知らなかった人達が、縁があってわがクラブを通じて友情を深めていくことは素晴らしい事だと思います。そのためには会員同志がよく理解し合うことが第一歩であると考えます。私がゴルフ同好会のお世話をさせていただいて来たのも、実はこのような考えがあったこともその一因でありました。つまりクラブのまず第一歩は、会員の相互の親睦と理解であると考えます。

このために本年度の目標の第一は「例会の充実と組織の再点検」にしたいと考えています。例会に来て「楽しかった。有意義だった。」と帰途で思えるような例会にしていきたいと思っています。単に集まって食事をして帰るだけの例会ではなく、相互理解が深まり社会奉仕の実践に向けて、真の友情が育つような例会にして

いきたいと考えています。そして各委員会が十分に機能し得るように特に会長・副会長の連絡を密にするように努めます。

次に第二は、保健・環境問題に取り組んでいきたいと考えています。環境問題は全地球的規模の深刻な問題として我々に投げかけられています。私達は、この問題に真剣に取り組まなければなりません。本年度の保健環境保全委員会が行った「感想文募集」のような活動は是非今年度も継続して行きたいと考えています。このような活動は継続事業として行うことにより、その効果が増大するものと考えています。

第三に教育福祉活動を発展させたいと考えています。私達の奉仕活動は単に「経済的援助」をするだけでなく「人づくり」的活動に重点を置くべきものと考えています。本年度の活動を更に発展して青少年の健全育成に励みたいと思います。

本年度の抱負を述べさせていただきましたが私達はまだ若いのですから、自らの体で社会に奉仕をするクラブとして、他のクラブとは違った特色を出しながらがんばりたいと思います。

皆様のご協力をお願いします。



次年度クラブ幹事として

幹事 佐藤 宏

初夏の心地良い風が肌をなでる季節となり、いよいよ新年度へ向けて船出すべく準備の気配りをしている段階となりました。

次年度の事業計画・予算計画も最後の詰めに入り、委員会の各計画案も出揃いました。その計画案でもって、7月よりフル回転で発進する体制がととのって来ました。

多治見陶都ライオンズクラブ幹事は、初代幹事の小芝ライオン、二代目堅実な加藤恵一ライオン先輩御二方の名幹事の後には、荷が重く見事任務が遂行出来るか不安に思っておりますが、新会長尾関ライオンの、次年度方針である「会員同志の和、会員同志の親睦、クラブ組織の充実」この三方針を会員の皆様方に良く理解していただくよう、新三役・新副会長の皆様方と詳細な打ち合せの回数を増加する事、各人の意見を尊重し、決済事項は必ず複数にて結論を出し理事会に計るよう心掛けるつもりです。

今年度は、特に対外事業に対する取り組みを強化する年でもあると思います。前年度に始めた事業の継続及び安定充実に計り、新事業の拡大を心掛け、その痕跡を作っていくために、新会長を出来るだけ補佐し、女房役として努力して参る所存です。

私はクラブを愛し、友愛と奉仕の精神を基本とし、私自身の非力を皆様のご協力とご支援をいただき、ライオンズクラブの事を私自身精一杯勉強させていただくつもりです。

皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。



美しい地球をもとめて

環境保全委員会 伊藤 孝司

私達の日常生活のなかで、地球にやさしいライフスタイルを提案してみました。一人一人は小さな力でも、みんなが自覚をもって、身近なことから一つ一つ実践していけば、地球は元気を取り戻すかもしれません。

地球にやさしい実践編

【台所】

1. 買物の優先順位は、1. ガラス瓶、2. 缶、3. プラスチックを心掛ける。ガラス瓶・缶は何度でも再生可能だが、プラスチックは再生不可能で、燃やすと有毒ガスを発生し、埋めても分解しない。
2. 川や海を汚さないためにも、油はボロ布や新聞紙にしみ込ませて燃えるゴミに。合成洗剤は使わず石鹼を使う。三角コーナーには使用済みストッキング等を使い、出来るかぎり生ゴミを流さない。出た生ゴミは庭に埋め込み堆肥にする。そして食べものを残さない。味噌汁一杯で魚がすすめる水質に戻るまでに風呂桶5杯分の水がいる。
3. ゴミの減量化のためにも、ペーパータオル等使い捨て商品は避け、買物袋を持ち歩きビニール袋・過剰包装は断る。
4. 一般家庭の消費電力の25%は冷蔵庫で使われる。開け閉めは最低限に、そして短く庫内の容量は40%程度に抑え余り詰めこまない。ゴボウ・玉ネギ・ジャガイモ等はいれない。

【食生活】

1. 日本人一人当たり食べている食品添加物の量は、年間4kgとも言われています。ハウス栽培物はエネルギーを多く消費するうえ農薬漬け、遠くから運ばれてくるものは輸送に費やすエネルギーが莫大、輸入食品に至っては安全性のうえからも問題が多い。

なるべく地元の旬で新鮮な野菜を食べるように、信頼できる店を確保する。化粧野菜には発色や漂白のための添加物が入っているから買わない。

2. 高級な養殖魚はイケスの網に使用されている抗生物質等の薬剤で汚染されている。アジやイワシなど汚染の少ない外洋性の大衆魚を安く美味しく食べよう。
3. 1kgの牛肉をつくるには20kgの穀物が必要である。体のためにも野菜中心の食生活に切り換える。着色料や甘味料が入った清涼飲料水を水がわりに飲むのを止め、添加物が一杯はいっている加工食品ばかり食べない。ハンバーガー用の肉牛を飼育するため、中南米では1985年までに熱帯雨林の60%が伐採され牧草地にされたところがある。

【サニタリー】

1. カビとり剤とタイル洗浄剤を併用し、塩素ガスが発生し、死亡事故が起こっている。こまめな掃除を心掛け、人体にも自然環境にも有害な強力な化学薬品は使わない。
2. 歯を磨くときは、コップに水をため歯磨き粉は使わない、水を30秒間流すと6ℓ。練り歯磨きは合成洗剤と同じ。
3. 洗濯機を使うときはためすぎを心掛ける。これだけで90ℓの節約である。家庭で消費される水の4分の1は洗濯のときに使われる。合成洗剤は使わず石鹼を使う。それが難しいならせめて無リン洗剤を。石鹼は洗うまえにお湯を入れたり、洗濯機を回したりしてよく溶かす。石鹼カスやきばみ防止には、最後のすすぎに少量の酢を。
4. シャワーをこまめに止め、入浴は続けてはいる。朝シャンはしない。夏場は昼間から水をため、冬場は直前に。残り湯は、洗濯・雑巾掛け・洗車・植木の水等の再利用を心掛ける。
5. トイレトペーパーは再生紙を使い、芳香剤・消臭剤は使わず窓を開けて換気する。

【居間】

1. 私達が家庭で消費する電力を1割節約しただけで原子力発電所2基分の電力を節約できる。
2. エアコンの冷房設定温度は1度上げ、暖房は1度下げる。これだけで石油27ℓの節約になる。フィルターは2週間に1回は掃除をし、運転効率を高める。昔ながらの知恵（うちわ・簾・打ち水・日向ぼっこ・湯たんぼ・乾布摩擦等）で寒暑を乗り切る工夫を。
3. 不必要な照明は消し、白熱電球より蛍光灯を使う。電球や笠はこまめに掃除をし、家族は一つの部屋に集まり、早寝早起きをする。
4. テレビを見る時間を1日1時間減らせば1世帯年間33KWh、日本全国で24億KWhの節約で、80万世帯の電力消費量に相当する。またリモコン式のは寝るまえに本体の主電源を切る。
5. 夏はカーテン・ブラインド・簾等で直射日光を避け、冬は厚手の長いカーテンで隙間風を防ぎ暖房の無駄を無くす。
6. 新聞・雑誌・ダイレクトメール等紙類は極力リサイクルしよう。過剰包装にはノーといい、買物袋は小さく折りたためるものを何時も持ち歩く。

【庭】

1. 堆肥作りに挑戦してみよう。家庭用コンポスト容器を使えば、年間500～750kgの生ゴミが肥料に変わる。
2. 庭をコンクリートで覆わず木を植える。水やりには米の磨ぎ汁を使い、除草剤は使わず、雑草は手で抜くか草刈機を使う。
3. 野鳥が安心してこられる場所を作る。残飯の整理もしてくれ、害虫も食べてくれる。

4. 洗車するときはバケツに水を入れて、だしっぱなしにして洗うと約8倍の水が必要になる。省エネ・無公害の文明の利器自転車を大いに活用しよう。
5. 白アリ駆除剤は急性毒性の強いクロルピリホスが主に使われている。蒸発すると室内の空気を汚染し人体に有害である。薬剤に頼らず、床下の風通しを良くし、木はヒノキ・スギを使用する。

【オフィス】

1. 日本の古紙回収率は48%（1988年）と世界でも高い水準を保っているが、オフィスビルの集中する東京丸の内から出るゴミの半分は紙ゴミである。使用するのは再生紙、使用後はリサイクルを徹底し、紙の使用量を減らす努力をする。
2. 冷房温度29度、暖房温度は17度を基準に、昼食時など人がいなくなる時間は照明を消す。無駄な残業はしない。車やエレベーターはなるべく使わず、自分の足を活用しよう。
3. コーヒーブレイクに使い捨てコップを使うのは止め、自分専用のカップを使う。出前を頼むときには割箸は断る。社内食堂では塗り箸を使うようにする。

【レジャー&アウトドア】

1. 休日には人工的なレジャー施設よりもバードウォッチングなど、野山や川や海で自然と親しむ。ゴミは持ち帰る習慣を付ける。
2. 日本にある自動販売機の総数は537万台で世界第1位。消費電力は1台600～1500W、1年間で100億KWhにもものぼる。したがって自動販売機は使わない。缶飲料の口金や釣糸などを捨てたままにしない。
3. レストランやパーティに出掛ける時には残った食べ物を持ち帰るために、密閉容器を持参する。ただとばかりに紙ナプキンを使

うのは止めハンカチ・布ナプキンを使う。

4. 自然破壊をもたらすリゾート開発には目を光らす。ゴルフ場18ホールを造成するためには100ヘクタールの土地が必要であり、森林を伐採し、表土を削ぎ取るために緑は破壊され保水能力は4分の1程度に低下し洪水を引き起す。また芝生の緑を保つために年間3～4トンの農薬がまかれ、周辺住民・自然の動植物・ゴルファー・ゴルフ場の従業員に悪影響がある。接待やステイタスとしてのゴルフは止める。

【地球と上手に付き合う方法】

焦らずゆっくりと生き、競争するのは程々にし、会社人間はもう止めて家庭や地域に目をむける。大事に長い付き合いのできる商品を買うように心掛け、季節感のある暮らしを取り戻し、際限のない欲望を捨てる。

地球は53億人と大小無数の生物の共通の家であることを忘れないように。

色々書いてみましたが、仮にこのことを全て実践したとしたらどうなるのでしょうか。環境汚染につながる商品を作ったり販売に携わっている人達は職を失うことになります。そして、手仕事が増えることにより人件費が上り、流通の手段が変わり身近なものしか手に入らなくなり、エビやマグロなどは高価すぎて口には入らなくなり、近くで作られる季節の野菜しか食べられなくなり、ウドンやソバやパンまでもが高価なものとなってしまいます。ものを大切にすることにより商品の回転が悪くなり物が売れなく消費が縮小し景気が後退する。現在私達が享受している便利さと快適さはかなり失われてしまいます。

しかし皆さん考えてみてください。

地球の破壊をこのまま指をくわえて眺めているのか、それとも真剣に地球の未来を考え何らかの行動を起こすのか。

企業・会社の持つ社会的意味合いは何でしょうか。それは社会が必要とするものでなくてはなりません。フロンを製造する会社は今世紀中には廃業・転業に追いつめられてしまいます。社会が、我々が現在のように便利さと快適さを求めているかぎり、企業の体質に変化は見られません。然し私達一人一人が地球の未来にとって何が必要かを絶えず考え求めていくなれば、企業もそれにのっとった方向に伸びて行くのではないのでしょうか。反対に今までのように便利さと快適さを求め続けたなら、企業もまた便利

で快適な新しい商品を開発し環境汚染の原因を作り出すことになるでしょう。現在の経済構造はバブル化し肥大化し、消費のうえに消費を積み重ねそれによってどうにか回転しているのが現実ではないのでしょうか。

皆様も一度地球に優しい企業とはどのようなものであるか考えてみてください。それに対する答えを出すことのできる企業がこれからは生き残ることもできるし飛躍的に伸びる可能性を秘めています。

一年間をふりかえって

中 旬 新 聞

1993年(平成5年)11月10日(水曜日) 東濃 A [18]

多治見市十九田町の「さわらび学級」に、ビデオ、テレビ、パソコン、生徒適応指導教

不登校児教室に 映像機器を贈る

見 治 多
都 陶 都



生徒代表に目録を手渡す山内正勝会長(左から3人目)＝多治見市十九田町のさわらび学級で

オテッキ、ラックの三点セット(約十三万円)を寄贈した。この日、同学級で贈呈式があり、山内会長、末松委員長らクラブ員三人と奥村勉教育長、安藤保彦さわらび学級長や同学級の中学生ら約二十人が出席。生徒代表が山内会長から目録を受け取った後、「いろいろな行事の活動記録をこのビデオとテレビで見ることができるようになりました。これからも精いっぱい頑張っていきます」とお礼の言葉を述べた。





編集局便り

もうすぐ、陶都LCの二年目が終わります。スタッフの皆様、本当にご苦労様でした。

一年間、一日も休まず出席された方が、10～13名、これまたご苦労様でした。でも、何処かのクラブには、13年皆勤と言うつわものがお見えになるそうです。

皆様、ギネスブックに挑戦、昨年度、チャーターナイト、本年度、最初はYE委員会、ホストの小芝家、本当にご苦労様でした。奥様のご活躍が目立ちましたね。

L. 佐藤、計画の立案から実行完璧です。また、L. 小芝、発明協会の関係で表彰とか、おめでとうございます。

2番バッター、L. 末松、さわらび学級、編集長、勉強不足、存在すら知りませんでした。反省！。その学級へ通える子供達は、ごく一部であると聞き驚きました。どう見ても、局長の娘と変わらない子供達です。テレビを贈呈するだけでなく、もっと違った形で、係わりたいと考える局長です。本当にこういう日の当らない所をもっと、アピールして欲しいと思います。

計画委員長、L. 水野、100%例会や移動例会面白かったね。一年の内には、一度くらい100%に一度くらい。皆で考えれば出来ると思います。貴方はどう思いますか？。企画も大変ですが、成功は皆様のご協力の賜物です。

L. 伊藤(孝)君の環境問題は今トレッド。同感……。ラジオ、テレビの天気予報聞いてますか？。最高気温、多治見で???℃なんて、何時もだよ、何で多治見???。小学校の裏山でむかし遊んだ所は今はない、緑がない。やはり真剣に考えたいね。

各委員会の委員長さん、ご苦労様でした。

当編集局も、もう何日で来年の編集局へバトンタッチ。

L……LIBERTY	自由、解放
I……INTELLIGENT	知性の高い
O……OUR	私たち
N……NATION	国家
S……SAFETY	安全

最後に、最高に、頑固で、個性的な、会長ご苦労様。